

株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期 毎年6月
議決権行使基準日 毎年3月31日（その他必要がある場合はあらかじめ公告した日）
単元株式数 100株
期末配当金 毎年受領株主確定日3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に支払います。
中間配当金 中間配当を行う場合は、受領株主確定日9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に、取締役会決議により支払います。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）
上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所（証券コード 9056）
公告掲載方法 電子公告（<http://www.hutechnorin.co.jp/>）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社ヒューテックノオリン

〒130-0026 東京都墨田区両国 2-18-4
TEL 03(3632)3434 (代) FAX 03(3633)7064



Hutech norin

第 61 期 中 間 決 算 に 関 す る ご 報 告

（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

株式会社ヒューテックノオリン

（証券コード：9056）

■ ごあいさつ

前年稼働店所を
中心に増収を確保。

株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループが主軸をおく低温食品物流業界におきましては、食事の内食化の高まりと家庭用冷凍食品の伸長により、冷凍・冷蔵食品の需要は堅調に推移しております。一方で、食品原材料の高騰や消費者の低価格志向を背景とした受託料金の抑制や物流業者間の価格競争、また、電力料金の段階的な値上げなどにより、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような環境の下、当社グループでは、平成24年に開設した東京支店（東京都八王子市）や中部支店増築棟（愛知県小牧市）、東京支店第二センター（東京都立川市）、京都センター（京都府京田辺市）、神奈川J Dセンター移転（神奈川県厚木市）等による積極的な投資が奏功し、増収増益基調で推移しております。今期におきましては、これらの新設店所をより磐石な体制とするべく、注力してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、改めまして当社グループへのご理解をいただき、更なるご指導とご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

平成25年12月

代表取締役社長 松田 毅 夫



当第2四半期の連結業績の概要について

当第2四半期連結累計期間の営業収益につきましては、主に平成24年に稼働を開始した東京支店（東京都八王子市）や東京支店第二センター（東京都立川市）、京都センター（京都府京田辺市）の稼働などが奏功し、増収を確保することができました。

利益につきましては、新設支店の稼働に伴うリース資産の減価償却費や電力料金などの動力燃料費ならびに外注費の増加等があったものの、当第2四半期連結累計期間においては、新店所の立上げ費用の解消等により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期比で増益を確保することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は190億1千8百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は9億2千3百万円（前年同期比4.3%増）、経常利益は9億4千万円（前年同期比2.0%増）、四半期純利益は5億3千5百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

利益分配に関する基本方針および当期の配当について

当社グループは、株主に対する利益還元策を経営の最重要課題として認識しており、株主の皆さまに適正な利益配分を安定的に継続して行なうことを基本方針としております。なお、配当性向につきましては、具体的な数値基準を設けるものではありませんが、連結当期純利益の20%程度を一つの目安として配当金額を決定してまいります。

内部留保資金につきましては、営業拠点の整備・拡充など、今後の業容拡大による業績確保を図るため、設備投資および財務体質の強化のための原資として充当する予定です。

当期の中間配当金につきましては、当初公表（平成25年5月10日）の通り、1株当たり14円00銭（支払開始日：平成25年12月5日）とさせていただきます。また、当期末の配当金につきましては1株当たり14円00銭を実施する予定であります。

この結果、1株当たりの年間配当金は28円00銭を予定しております。

通期の連結業績見通し

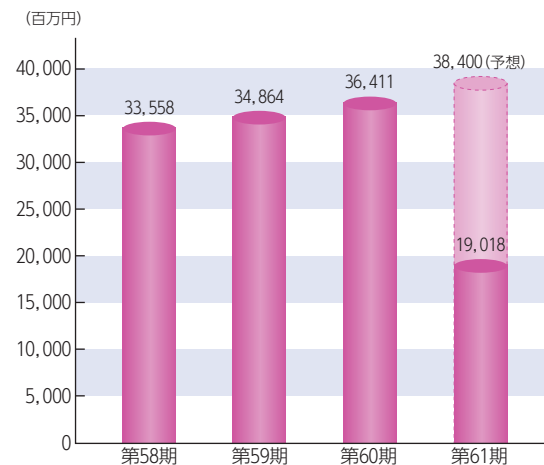
通期の業績予想につきましては、新設店所の安定稼働による物量増加と、前期までの立ち上げ費用の軽減により、増収増益が見込まれますが、今後の新規センターの立ち上げ費用、年末年始の物量増への対応として外注費や労務費等を勘案し、期初に発表した連結業績予想に対し、利益の伸び率を慎重に見込む等の修正を致しました。

平成26年3月期通期業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）（単位：百万円）

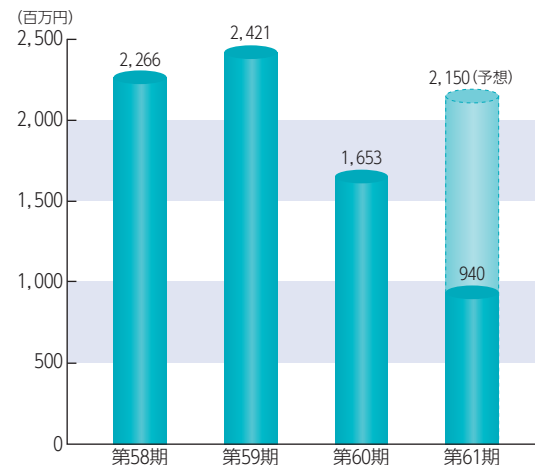
連結	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想（A）	37,850	2,350	2,300	1,350	129.94
今回修正予想（B）	38,400	2,200	2,150	1,250	120.31
増減額（B-A）	550	△ 150	△ 150	△ 100	—
増減率（B/A,%）	1.5	△ 6.4	△ 6.5	△ 7.4	—

連結決算ハイライト

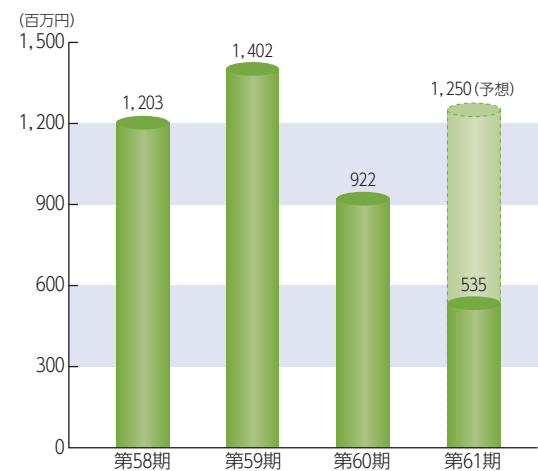
営業収益



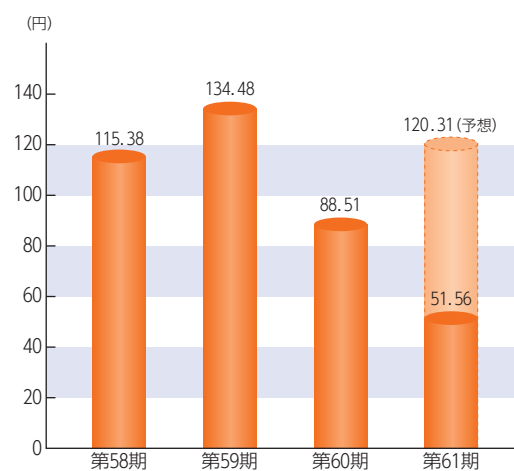
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



報告セグメントの概況

TC事業

営業収益
4,345百万円
セグメント利益
210百万円



神奈川JDセンター（平成24年10月移転）

DC事業

営業収益
14,062百万円
セグメント利益
1,609百万円



東京支店（平成24年2月稼働）



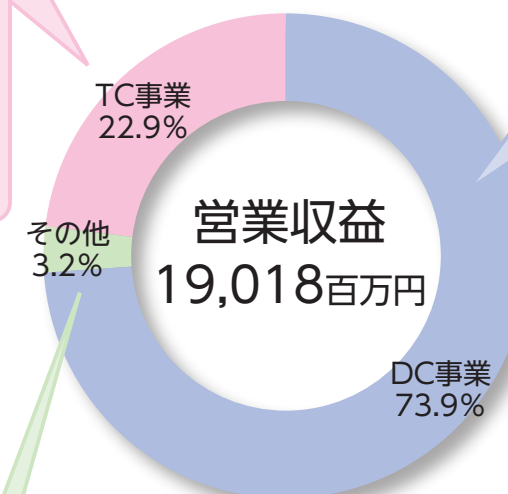
中部支店（平成24年3月増築棟稼働）



東京支店第二センター（平成24年6月稼働）



京都センター（平成24年10月稼働）



その他^(※2)

営業収益
610百万円
セグメント利益
101百万円

(※1) セグメント利益は連結損益計算書の営業総利益の数値であります。

(※2) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備輸送業等が含まれております。

DC事業

保管在庫型物流事業
Distribution Center

(1)低温食品の保管・配送事業

全国の各要衝に展開する流通型冷蔵倉庫において、低温食品の共同保管・荷役および輸入冷凍食品の特定保税承認業務を行い、併せて共同配送の機能を活かし、納品先へ24時間以内でお届けするコールドチェーン物流を構築しております。



～関東第二支店～



(2)病院食材物流

医療機関・医療関連施設および老健施設などに、低温食品を中心とした食材の仕分・配送を行っております。



～東北支店第二センター～



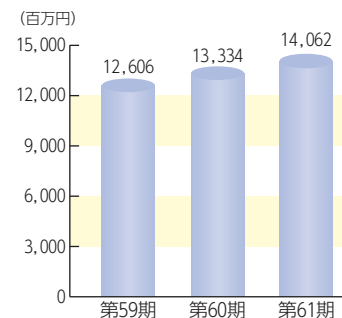
(3)加工業務

冷蔵倉庫に併設した工場において、冷凍野菜等の小袋パック詰め業務を行っております。

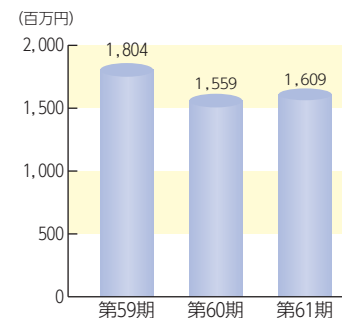


～関東工場～

営業収益



セグメント利益



※セグメント利益は各期の第2四半期連結累計期間における連結損益計算書の営業総利益の数値であります。

TC事業

通過型センター事業
Transfer Center

量販店や共同仕入機構、生活協同組合等の配送センター業務を365日24時間体制で行っております。

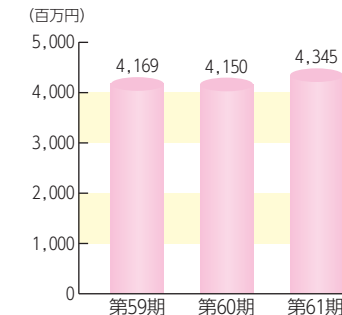


～千葉総合センター～

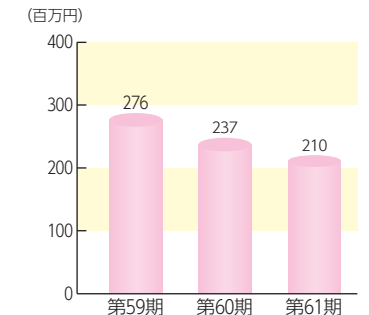


～神奈川JDセンター～

営業収益



セグメント利益



※セグメント利益は各期の第2四半期連結累計期間における連結損益計算書の営業総利益の数値であります。

その他

The others

(1)警備輸送事業

首都圏の金融機関で取り扱う現金・貴重品の輸送業務および店舗の売上金・両替金の集配金業務を行っております。



～東京営業所～

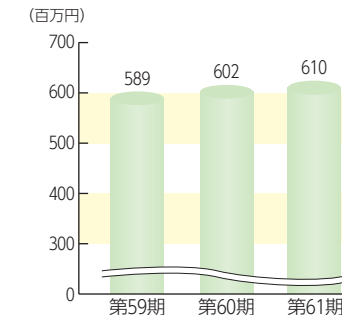
(2)病院関連物流事業（連結子会社 株式会社ヘルティー）

病院向けリネン類の集荷配送、院外厨房物流および在宅介護用品の宅配等を行っております。

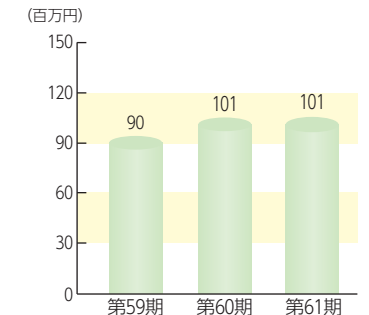


～ホームケアセンター～

営業収益



セグメント利益



※セグメント利益は各期の第2四半期連結累計期間における連結損益計算書の営業総利益の数値であります。

財務諸表

■ 連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科目	期別 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	期別 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	増 減
I. 営業収益	19,018	18,087	931
II. 営業原価	17,096	16,189	907
III. 販売費及び一般管理費	998	1,012	△ 14
営業利益	923	885	37
IV. 営業外収益	120	118	1
V. 営業外費用	102	81	21
経常利益	940	922	18
VI. 特別利益	0	0	0
VII. 特別損失	1	26	△ 25
税金等調整前四半期純利益	940	896	43
法人税等	393	361	31
少数株主利益	11	9	1
四半期純利益	535	525	10

▶Point.1 ▶▶▶ 営業収益

・東京支店（平成24年2月稼働）
・東京支店第二センター（平成24年6月稼働）
・京都センター（平成24年10月稼働）
といった、新規店所が増収に寄与。

▶Point.3 ▶▶▶ 営業利益

新規店所の立ち上げ費用軽減となるが、当初計画に比べ営業原価の上振れがあったが営業利益率はほぼ横ばい。

▶Point.2 ▶▶▶ 営業原価

・外注費が運送料、作業料を中心に増加。
・新規店所に伴うリース資産の減価償却費の増加。
・動力燃料費は前年同期比で113.6%。

▶Point.4 ▶▶▶ 特別損失

前期の保有有価証券評価損が解消。

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科目	期別 当第2四半期 連結会計期間 (平成25年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	増減
資産の部			
I. 流動資産	6,213	6,837	△ 623
II. 固定資産	31,143	30,097	1,045
1.有形固定資産	27,993	26,931	1,061
2.無形固定資産	125	137	△ 11
3.投資その他の資産	3,024	3,029	△ 4
資産合計	37,357	36,935	421
負債の部			
I. 流動負債	6,528	6,146	382
II. 固定負債	13,018	13,400	△ 381
負債合計	19,547	19,546	1
純資産の部			
I. 株主資本	17,725	17,345	379
1.資本金	1,217	1,217	—
2.資本剰余金	1,392	1,392	—
3.利益剰余金	15,156	14,777	379
4.自己株式	△ 41	△ 41	—
II. その他の包括利益累計額合計	△ 297	△ 317	19
III. 新株予約権	24	12	12
IV. 少数株主持分	357	348	9
純資産合計	17,809	17,388	420
負債純資産合計	37,357	36,935	421

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科目	期別 当第2四半期 連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	期別 前第2四半期 連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	増減
I. 営業活動による キャッシュ・フロー	2,436	1,535	900
II. 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,846	△ 1,528	△ 317
III. 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 552	△ 577	25
IV. 現金及び現金 同等物の増減額	47	△ 570	618
V. 現金及び現金 同等物の期首残高	1,734	2,928	△ 1,193
VI. 現金及び現金 同等物の四半期末残高	1,782	2,357	△ 575

▶Point.1 ▶▶▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は、24億3千6百万円（前年同期比58.6%の収入増）。これは法人税等の支払額が減少したことが主な要因。

▶Point.2 ▶▶▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、18億4千6百万円（前年同期比20.7%の使用増）の使用。

▶Point.3 ▶▶▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金増加やリース債務の返済等により、5億5千2百万円（前年同期比4.4%の使用減）の使用。

▶Point.1 ▶▶▶ 固定資産

関東地区の新センター構想に伴う土地の取得等。

▶Point.2 ▶▶▶ 流動負債

短期借入金の増加等。

▶Point.3 ▶▶▶ 純資産

利益剰余金の増加（379百万円）。

物流システム

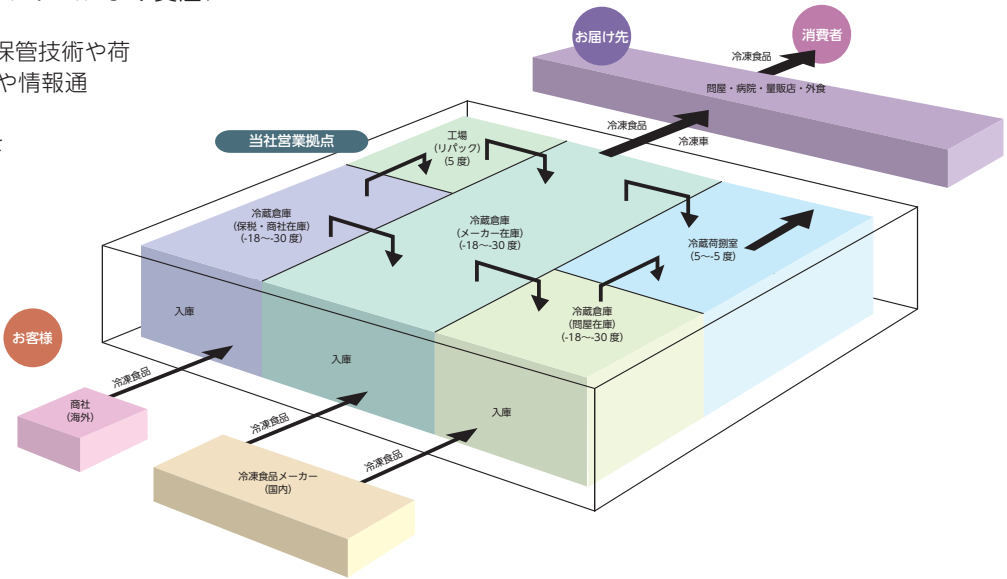
■ 食材物流システム

消費者ニーズの多様化・高度化が進む中で、高品質、ローコスト物流への期待が更なる高まりをみせています。当社では、市場ニーズに的確に対応するため全国各地の営業拠点において、倉庫業・一般貨物自動車運送事業・利用運送事業・運送取次事業・食品の冷凍冷蔵業・輸出入冷凍冷蔵貨物の保税蔵置場・特定保税承認制度などの許認可を受けています。

それらの営業拠点では、メーカー・問屋・量販店・商社・チェーンストアなどの総合物流センターとして、冷凍食品を主力に食品全般の物流をすべてオンラインシステムにより受注、処理しています。

また、流通型冷蔵倉庫としての保管技術や荷役・加工技術、さらには冷凍車両や情報通信システムなど顧客満足へ向けたたゆみない研究開発、技術開発を進め、常に高付加価値・高品質の食材物流システムをプロデュースしています。

まさに、冷凍食品物流業界におけるコールドチェーンのリーダーとして、更なる業界への貢献に努めてまいります。

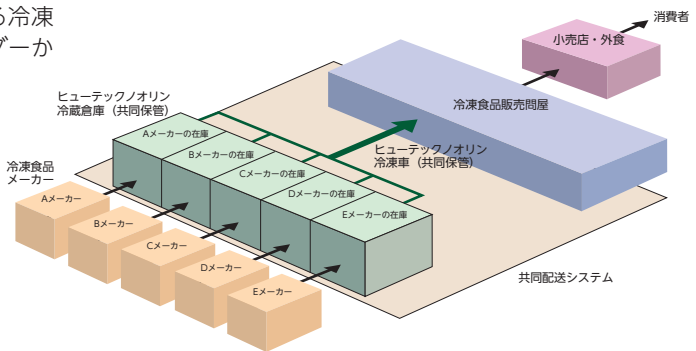


■ 冷凍食品メーカー・商社の共同配送

先進のトータル物流システムと、卓越した品質管理技術による冷凍食品の共同配送は、地域別個建料金を適用し、1ケースのオーダーから大ロット輸送まで対応しています。

また、オンラインによる入出庫・配送オーダーをデータベースとする伝票発行や受払日数などの情報処理業務、さらには各種冷凍食品の販売促進に関わる物流情報サービスの提供など、マーケット・イン思考に徹した冷凍食品の共同配送体制を実現しています。

■ 共同配送の概要



会社概要

(平成25年9月30日現在)

商号	株式会社ヒューテックノオリン (Hutech norin Co.,Ltd.)
設立	昭和28年3月14日
資本金	12億1千7百万円
本社	東京都墨田区両国二丁目18番4号 (〒130-0026) 電話：03-3632-3434 (代表)
主な事業	冷凍・冷蔵食材の保管配送事業、 警備輸送事業
従業員数	1,263名 (連結：1,357名)
車両台数	695台
冷蔵倉庫	906,175㎡
普通倉庫	3,916㎡
連結子会社	株式会社ヘルティー (埼玉県越谷市七左町3丁目192番地) 株式会社ヒューテックサービス (東京都墨田区両国二丁目18番4号)

役員

(平成25年9月30日現在)

代表取締役社長	松田 鞆夫
代表取締役副社長	青山 信幸
専務取締役	綾 宏将
常務取締役	峯 一央
常務取締役	酒 光修史
取締役	後藤 二雄
取締役	米倉 清人
取締役	坂内 茂昭
常勤監査役	戸田 等
常勤監査役	中木 義則
監査役	小澤 渉

(注1) 常勤監査役戸田等および監査役小澤渉の両氏は、社外監査役です。

(注2) 社外監査役戸田等氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式等の状況

(平成25年9月30日現在)

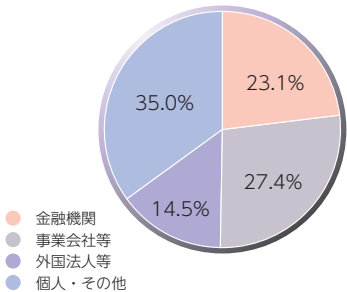
発行可能株式総数	41,750,000株
発行済株式の総数	10,438,000株
単元株式数	100株
総株主数	2,019名

■ 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社マルハニチロ食品	1,360,000株	13.09%
ビービーエイチフォーフィデリティロープライズストックファンド	1,043,700	10.04
農林中央金庫	520,000	5.00
共栄火災海上保険株式会社	520,000	5.00
ヒューテックノオリン取引先持株会	517,100	4.97
ヒューテックノオリン従業員持株会	487,497	4.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	475,800	4.58
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託雪印メグミルク 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	414,000	3.98
パンクドルクセンブルグクライアントアカウント 470004	362,800	3.49
日清医療食品株式会社	220,000	2.11

(注) 持株比率は、自己株式 (48,319株) を控除して計算しております。また、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

■ 所有者別株式数分布状況



- 金融機関
- 事業会社等
- 外国法人等
- 個人・その他